

**平成25年3月期
決算説明会**
(プレゼン編)

2013年4月25日



目次

- I 2013年3月期の状況**
- II 2014年3月期の予想**
- III 当社の方向**



I 2013年3月期の状況

1 マクニカグループ実績（連結）

2 半導体事業実績（集積回路及び電子デバイスその他）

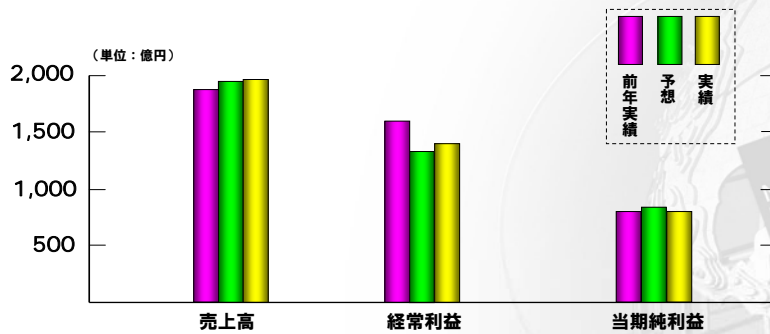
3 ネットワーク事業実績



1 マクニカグループ実績（連結）

I 2013年3月期の状況

① 実績



(単位：億円)

	前年実績 (12/3)	予想 (13/1/28)	実績 (13/3)	前年比	予想比
売上高	1,889	1,950	1,965	4%	1%
経常利益	66	53	57	▲14%	7%
純利益	33	34	33	0%	▲1%

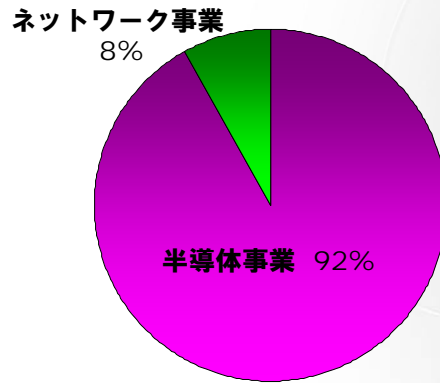


1 マクニカグループ実績（連結）

① 2013年3月期の状況

② 事業別売上高構成比

連結売上高1,965億円



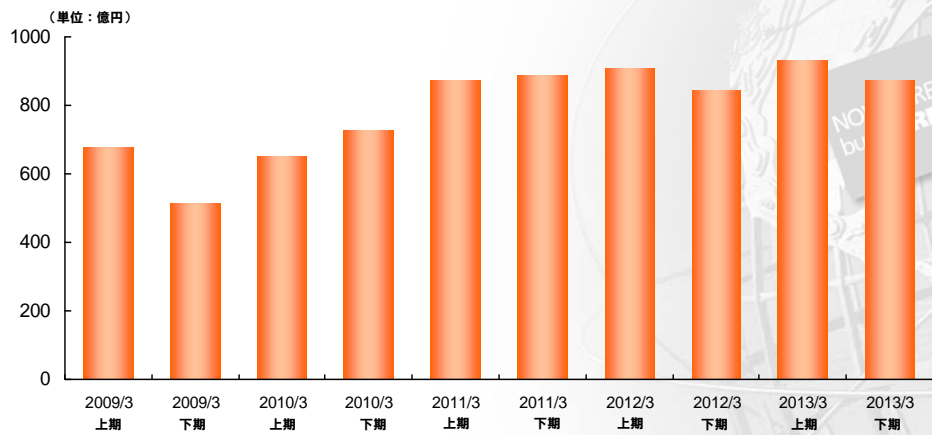
5

MACNICA
目指すは、その先へ

2 半導体事業実績（集積回路及び電子デバイスその他）

① 2013年3月期の状況

① 半期毎売上高推移



6

MACNICA
目指すは、その先へ

② トピックス

売上高1,804億 前年比+3%

用途

- 通信端末は、スマートフォンの需要増により、急拡大。
- 車載は、世界経済の減速などによる生産調整の影響を受け減少傾向となったものの、新規モデルの立ち上がりにより堅調に推移。
- 民生機器は、コンパクト・デジタル・スチル・カメラや、テレビの需要減少により低調に推移。
- 産業機器は、中国経済の減速や設備投資抑制の影響を受け減少。

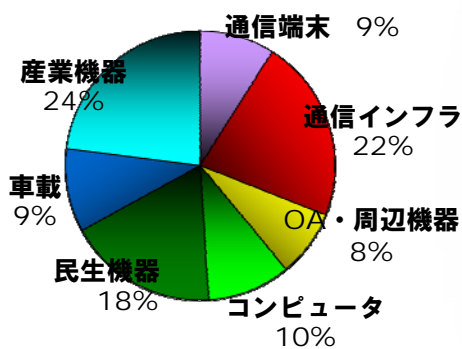
エリア

- 中国市場の景気減速を受けたものの、産業機器市場向けの顧客基盤拡大により堅調に推移。また日系企業のアジア地域への生産移管が引き続き拡大し、海外売上比率は前年比3%アップの34%へ。



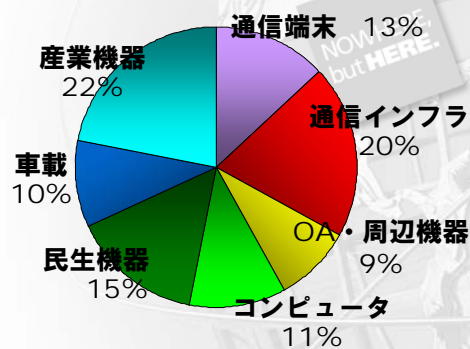
③ 用途別売上高構成比

売上高1,750億円



2012年3月期

売上高1,804億円

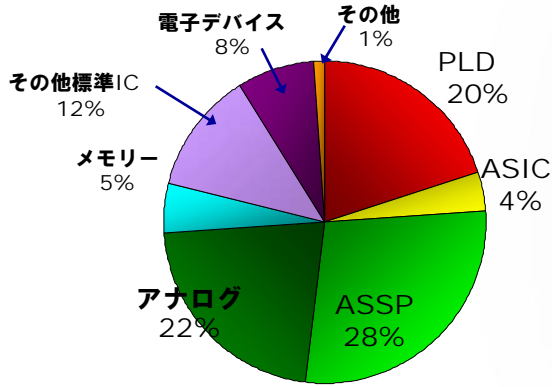


2013年3月期



④ 品目別売上高構成比

売上高1,804億円

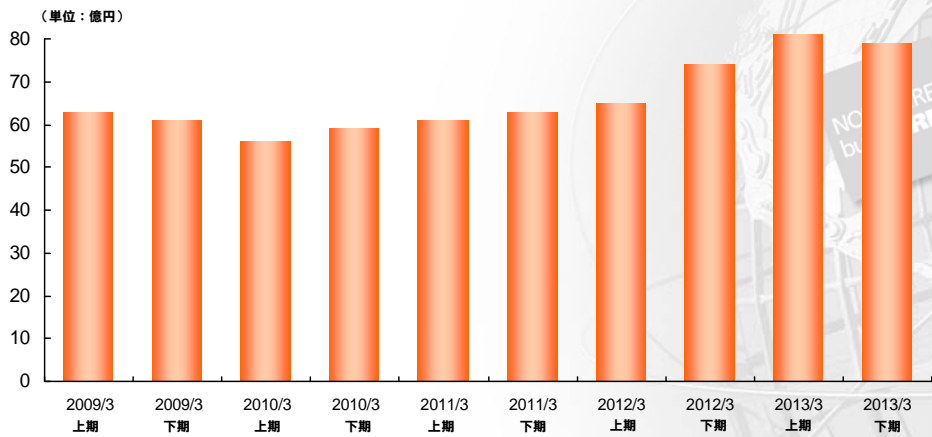


品目別前年比

品目	増減率
PLD	△6%
ASIC	△13%
ASSP	+15%
アナログ	△1%
メモリー	△3%
その他標準IC	+7%
電子デバイス	+10%
その他	△10%
半導体事業計	+3%



① 半期毎売上高推移



② トピックス

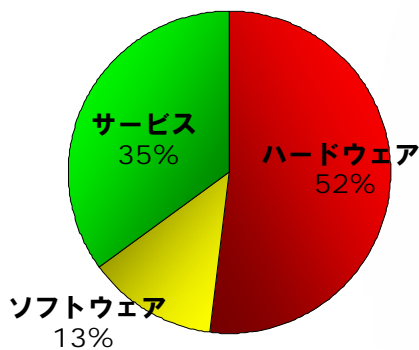
売上高161億 前年比+15%

- 用途**
- スマートフォンの拡大による通信量増加に伴い、通信設備向けスイッチボードの好調が持続。
 - 通信インフラの増強により、無線アクセスポイントなどの通信機器が伸長。
 - 標的型攻撃に対応する高度なセキュリティ関連機器の需要増により拡大。



③ 品目別売上高構成比

売上高161億円



品目別前年比

品目	増減率
ハードウェア	+28%
ソフトウェア	+4%
サービス	+4%



II 2014年3月期の予想

1 マクニカグループ予想（連結）

2 半導体事業予想（集積回路及び電子デバイスその他）

3 ネットワーク事業予想



13

MACNICA
日本法人の、その先へ

1 マクニカグループ予想（連結）

II 2014年3月期の予想

① 予想

（単位：百万円）

	上期予想	前年比%	下期予想	前年比%	通期予想	前年比%
売上高	102,900	2	107,100	12	210,000	7
集積回路及び電子デバイスその他事業	94,530	2	97,470	11	192,000	6
ネットワーク事業	8,370	3	9,630	22	18,000	12
売上総利益	14,700	5	15,240	8	29,940	6
営業利益	3,570	11	3,730	48	7,300	27
経常利益	3,410	4	3,590	49	7,000	23
当期純利益	2,140	1	2,170	76	4,310	29



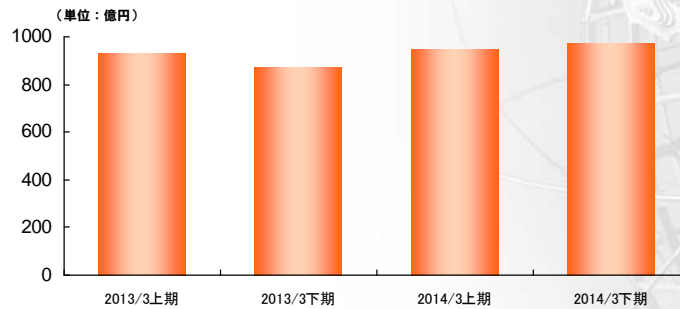
14

MACNICA
日本法人の、その先へ

① 半期毎売上高推移

世界経済の持ち直しや国内経済対策を受けて回復基調

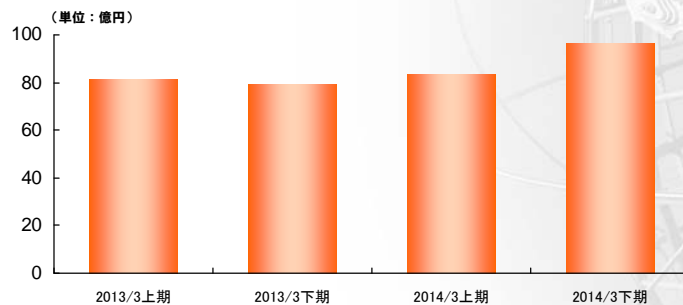
- 通信インフラ市場は、設備投資の需要増により堅調に推移する見込み。
- 産業機器市場は、中国経済および輸出の持ち直しを背景に回復予想。
- 車載市場は、需要の回復や新規モデルの立ち上がりにより伸長する見通し。



① 半期毎売上高推移

セキュリティ市場は引き続き拡大傾向

- 官公庁や企業のセキュリティニーズは引き続き高く、セキュリティ関連機器やソフトウェアは好調を継続する見通し。
- スマートフォン拡大により通信量が増加し、通信設備向けハードウェアが引き続き堅調に推移する見通し。



III 当社の方向

1 マクニカグループ（連結）

2 半導体事業（集積回路及び電子デバイスその他）

3 ネットワーク事業



17

MACNICA
EUREKA, CYTECH

1 マクニカグループ（連結）

III 当社の方向

① ターゲット市場 - エリア

● グローバル市場への展開

上流から下流まで、シームレスな
サポート体制をグローバルに構築



18

MACNICA
EUREKA, CYTECH

① ターゲット市場 - 用途

● 産業機器市場、車載市場への浸透



① ターゲット市場 - 用途

● セキュリティソリューション

- FireEye : 標的型攻撃を検知し、侵入機器を特定
- CrowdStrike : 攻撃者とその目的を調査
- BlueCoat : 攻撃者との通信を制御
- McAfee : 攻撃の影響、情報漏えいの調査

